

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020030

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	8 介護サービス事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7 高齢者支援の充実	事業優先度	A	
単位施策	1 地域包括ケアの推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	特別養護老人ホーム等整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	11 町有施設整備室	
事業指標	計画的な施設整備		#N/A	
事業目標	整備件数 16件	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 介護保険法、老人福祉法	
住民協働		関係個別計画名	有 雄武町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	開設当初からある特別養護老人ホームの設備等について、老朽や交換部品が既にあることで限界を迎えることから、更新を行いたい。	脱水洗濯機購入 20kg型 1機 回転式乾燥機購入 30kg型 1機 汚物除去機購入 11kg型 1機	ナースコール設備更新 一式 特別養護老人ホーム改修工事 センサーマット・ベッドセンサー購入 電話機購入	介護用ベッド購入 16台 給湯用貯湯槽取替工事 1基 特別養護老人ホーム改修工事	介護用ベッド購入 24台 真空ヒーター更新 1基	介護用ベッド購入 11台 食品庫内エアコン更新 1台 温冷配膳車購入 1台 軽自動車購入 1台
	事業費(千円)	66,793	3,390	19,785	13,794	18,572
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	66,793	3,390	19,785	13,794	18,572
一般財源	0					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	22,034	3,360	18,674	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	22,034	3,360	18,674			
一般財源	0					
関 連 事 項	特定財源の名称 その他 地域福祉基金繰入金 一般会計繰入金	【評価・実績】	(実施内容等) ・特別養護老人ホーム洗濯機等購入  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・特別養護老人ホーム改修工事 ・特別養護老人ホームナースコール改修工事 ・センサーマット等購入 ・電話機購入  ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等)  ※事務事業評価結果	(実施内容等)  ※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	3件	4件	3件	2件
		年度達成率	99%	94%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	5%	33%	33%	33%
		事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆		

事業名	特別養護老人ホーム等整備事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係長	内宮真希

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	特別養護老人ホーム	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	工事数及び備品購入数
【抱える課題やニーズは】	施設の老朽化。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	施設機能の維持と延命化。	① 工事数及び備品購入数	目標年度 平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	入所者が快適な日常生活を過ごすことができる。		目標値 4件
			実績値 4件
			達成度 100.0%
		②	目標年度 平成26年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	工事の実施、設備の更新	特別養護老人ホームの改修、ナースコールの改修、センサーマット、電話設備の更新を実施した。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	施設入所者が快適な日常生活を過ごせるよう、施設機能の維持と延命化を図ることは必要性が高い。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	施設を整備したことで入所者が快適な日常生活を過ごすことができ、施設の延命化が図られた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	入札執行し適正価格で工事及び備品を発注した。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	事業実施で施設入所者が快適な日常生活を過ごせるようになるため、公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
施設入所者が安心して日常生活が過ごせるよう、計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
施設入所者が安心して日常生活が過ごせるよう、計画どおり事業を進めることが適当である。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止